

西新中央商店街

どんな商店街？

福岡市西部の西新校区内に位置し、福岡市営地下鉄西新駅を中心として、姪浜、唐人町、鳥飼、百道浜、荒江を商圈とした商店街です。来街者層は、学生から高齢者まで幅広い層が来訪しています。令和6年からは、周辺商店街と連合を組み、「サザエさん商店街通り連合会」として活動することも増えています。



西新中央商店街で 年末の賑わい創出イベント企画

年末の賑わいと活気を創出するために

1. 商店街の課題

かつての西新中央商店街は、個人店舗が数多く存在し、年末になると商店街でしか買えない個人店舗の魅力を活かしたお店で賑わっていました。しかし、現在の西新中央商店街は、**個人店舗が減少し、以前のような年末の賑わいが失われてしまっています**。さらに、地域コミュニティの絆も薄れつつあり、若い世代を始め、**商店街と地域住民との繋がりが希薄化**しています。その結果、商店街が地域の中心としての役割を果たすことが難しくなっています。

2. 「年末の賑わい創出イベント」を開催

昨年度に引き続き、商店街内の歩行者専用道路を利用して、新年の準備を商店街で行えるように**正月用品を集めたマルシェ風のイベントを開催**することで、年末の賑わいと買い物の機会を提供し、商店街の活性化につなげました。

また、新たな工夫として、**近隣の学生と一緒に企画の中身を考え、当日の運営を行う**など、地域と一緒にイベントを実施しました。

3. 効果があったと思われること

当日の売上について、組合員56店舗の内23店舗にヒアリングしたところ、**19店舗が10%以上の売り上げ増加**となりました。

また、企画・運営に参加した学生と、自治協議会や公民館とのつながりが新たに生まれたことで、**地域コミュニティの強化**にもつながりました。

4. 来街者の声・会員さんの声

普段なかなか顔を合わせる機会の少ない地域の方々や別々の地域で活動されている方々が、商店街に足を運ぶことで交流が生まれ、地域への愛着が深まるきっかけになりました。また、昨年度と同じく、会員店舗からは、「来年もやってほしい」「年末の賑わいがあった気分が良かった」などの声が聞かれました。

5. 反省点や今後の取り組み

既存の店舗と出店者との業態が被る部分があり、次年度以降出店のルールやイベントの運用面について改善を検討していきたいと思います。

イベント全体としては、昨年度作成したイベントマニュアルにより運用面での効率化が図れており、今後も同様のイベントを開催していくことで、活気ある年末の商店街の風景を定着させ、商店街の活性化及び地域住民へ賑わいに寄与していきたいです。

